

情報公開文書

研究課題名	睡眠時無呼吸症候群（SAS）に対する持続陽圧呼吸療法（CPAP） 治療と脳卒中予後の検討
所属（診療科等）	国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経内科
研究責任者	水原 亮
研究機関	国立病院機構舞鶴医療センター
研究期間	2024年9月1日から2025年3月31日まで
研究目的と意義	睡眠時無呼吸症候群（SAS）は脳血管障害や死亡リスクと関連する危険因子として認識されている。しかし脳卒中後の睡眠時無呼吸症候群において、持続陽圧呼吸療法（CPAP）が血管イベントの再発や死亡率を減少させるとした研究での結果はまだ確立していない。今回我々はCPAP使用により脳梗塞後の再発予防や死亡リスクの改善効果が得られるかを検討し、脳梗塞患者におけるSAS治療の意義を明らかにすることを目的とします。
研究内容	<p>●対象となる患者さん； 入院した急性期脳梗塞患者の中で、簡易ポリソムノグラフィー（PSG）モニターによるスクリーニングで呼吸イベント指数が40回/時間以上の重症例を対象とします。</p> <p>●利用する情報； 患者さんの背景（年齢、性別、基礎疾患など） 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。</p> <p>●研究の概要・方法； すでに入院加療を終了した方のカルテ情報を用いて情報を収集し、患者背景や入院後の経過、再発の有無、治療内容などについて解析を行う。症例数としてはCPAP治療症例を30例、比較対象としてのCPAP非使用症例を70例で予定しています。</p>
問い合わせ先	研究担当者氏名：水原 亮（医師） 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経内科 住所：京都府舞鶴市宇行永 2410 番地 電話：0773（62）2680 FAX 0773（63）5332